

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

### 放送業務委員会（第 10 回）議事概要

日時：平成 25 年 7 月 18 日（木）14:00～15:30

場所：総務省 8 階 第 4 特別会議室

#### 出席者（順不同）：

都竹主査（名城大学）

伊丹主査代理（東京理科大学）

川口専門委員（テレビ朝日）、岸田専門委員（フジテレビ）、下地専門委員（パナソニック）、滝嶋専門委員（KDDI 研究所）、豊中専門委員（TBS）、西田専門委員（NHK 技研）、浜田専門委員（NHK）、平川専門委員（東芝）、檜原専門委員（ニッポン放送）、松井専門委員（電波産業会）、山内専門委員（NHK 技研）

#### 説明者：

久代氏（NHK）、実井氏（NHK 技研）、清水氏（TBS）

#### 事務局（順不同）：

総務省 情報流通行政局 放送技術課

野崎 課長、塩崎 技術企画官、諏訪 課長補佐、五十嵐 国際係長、山内 国際係

#### 配付資料：

資料 放-10-1 : 放送業務委員会（第 9 回）会合議事概要（案）

資料 放-10-2 : ITU-R SG6 関連ブロック会合（2013 年春期）報告書（案）

資料 放-10-3 : ITU-R JTG4-5-6-7 会合への対処について

資料 放-10-4 : 今後の検討スケジュール（案）

参考資料 1 : ITU-R JTG4-5-6-7 への放送関係入力文書

参考資料 2 : 放送業務委員会構成員名簿

## 議事概要

### 1. 事務局交代の報告

事務局より、人事異動による事務局の交代について報告された。

### 2. 配付資料の確認

事務局から配付資料の確認を行った。

### 3. 前回議事概要の確認

資料 放-10-1「放送業務委員会（第9回）議事概要（案）」について、既にメールにて照会済みであり、今後 Web ページへ公開する旨、事務局より報告があった。

### 4. 2013 年春期 ITU-R SG6 関係ブロック会合の結果について

資料 放-10-2「ITU-R SG6 関連ブロック会合（2013 年春期）報告書（案）」に基づき説明がなされた。

質疑等は以下の通り。

#### 4.1. WP6A : 勧告 ITU-R BT.1306 の改訂案について

- 複数の勧告を参照していることについて SWG 議長と中国が異議を唱えたとのことだが、中国が反対している理由は何か。
- 今回の改訂提案にあたって、中国方式については 6MHz と 7MHz のマスクが参照先の勧告に規定されていなかったため、参照自体を削除した形で日本寄書を入力した。中国としては 6MHz と 7MHz のマスクを今後入力することを検討しているようなので、反対があったものと思われる。

#### 4.2. WP6A : ISDB-T 採用国の SG6 での活動について

- 日本以外の ISDB-T を採用している国で、SG6 において積極的に貢献している国はあるのか。
- ブラジルが積極的に活動しており、密接に協力している。今回のレポート ITU-R BT.2247 の改訂についても積極的にサポートしてくれた。LTE と ISDB-T の共用検討等の話題についても、会議の外で意見交換を行っている。

#### 4.3. WP6A : 非常災害時の放送の重要性関係の話題について

- 今回、WP6A において唐突に非常災害時の放送の重要性関係の話題が出てきたように思われる。どのような背景なのか。

- IMT への周波数割り当てが議論となっている中、放送用周波数の防衛のため、放送の重要性についてアピールすることが目的であると考えられる。

#### 4.4. WP6B : セクター間ラポーターグループ (IRG) について

- セクター間 RG (IRG) に関するその後の検討状況について補足する。5月下旬に RAG 会合があり、そこで SG6 議長から IRG の設置について提案を行ったところ、RAG としては異論はなく、IRG が暫定的に活動できることになった。
- WP6B としては具体的に IRG を設置する話にはなっていないので、次の秋会合以降の IRG 設置となると理解してよいか。
- その通り。一方、後ほど報告があるが、WP6C には IRG 設置に係る具体的な案件がある。

#### 4.5. WP6B : 世界中の全ての文字セットに対する字幕に関するレポート検討について

- ラテン系文字の字幕と非ラテン系文字の字幕でかなり異なるとの反応があったとのことだが、具体的にはどのような違いがあるのか。
- 縦書きやルビの存在が挙げられる。また、アラビア文字は右から左へ書くなどの例もある。いずれもラテン系文字の言語圏では考えられないことであり、驚きであったと思われる。
- 日本語ではあたりまえのものとしてとらえていたが、他の国ではそうではなかったということか。
- そのとおり。また、字幕の方式というのは各々の言語で決まっており、これまで国際標準化という観点でとらえられていなかったため、レポート等の文書が不足していることが指摘された。そのため、レポート作成の意義があると判断された。

#### 4.6. WP6C : UHDTV における 50Hz 倍数のフレームレートについて

事務局：欧州はなぜ 50Hz 倍数のフレームレートを主張するのか。

- 英国の主張によると、勧告 ITU-R BT.2020 に記載されている 120Hz は、50Hz のフレームレートへの変換において課題があるとのこと。また、50Hz の交流電源による照明の下で撮影した際にフリッカーが発生する懸念があると指摘している。今後、具体的にどのような課題があるのか検討することになっている。

#### 4.7. WP6C : UHDTV におけるオーストラリアの活動について

事務局：UHDTV に関してオーストラリアの発言が多いようだが、UHDTV 推進に積極的なのか。

- そのとおり。ただし、オーストラリアは技術スペックの入力はあまり行わない。

#### 4.8. WP6C : UHDTV 用デジタルインターフェースについて

事務局：UHDTV 用のデジタルインターフェースについて、勧告とする候補はあるのか。

- SMPTE 2036 が挙げられる。しかし、必ずしも勧告 ITU-R BT.2020 の仕様を全てサポ

ートするわけではない。一方、ARIB で勧告 ITU-R BT.2020 準拠の規格が作成されていると聞いている。

事務局：日本としては ARIB で規定された規格を入力すべきか。

- そうすることが望ましいと思われる。

#### 4.9. SG6：災害関係のセミナー対応について

- 11月21日に開催されるという災害関係のセミナーでは誰が対応するのか。
- 現在、総務省と相談しているところ。内容は放送事業者の対応や日本の取り組みを含めた包括的なものにするのがよいかと思われる。

### 5. ITU-R JTG4-5-6-7 会合への対処について

資料 放-10-3「ITU-R JTG4-5-6-7 会合への対処について」に基づき、事務局から説明がなされた。

### 6. 今後のスケジュールについて

資料 放-10-4「今後の検討スケジュール（案）」に基づき、事務局から説明がなされた。

以上